



森のなかま

2019年 8月号

NO. 136 (継続281号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302



翩翩と翻る
開港祭の旗

“38th横浜開港祭 (THANKS TO THE PORT) 街頭キャンペーン”

開港160周年 2019年：6月1日（土）曇り、6月2日（日）曇り 9：00～16：30
場所：私達の会場配置は、みなとみらい臨港パーク E09

土日開催となった第38回横浜開港祭。今回は、横浜開港160周年の節目とも重なった。私どもは「人気のコンテンツ」をキャッチフレーズに、展開が容易な広い昨年と同一の場所を確保出来た。ここに、協議会の皆さまに感謝致したい。実施内容としては、「かながわ水源の森林づくり」の普及啓発で、安心・安全な横浜開港祭イベントを執行。

また、会場内にはSDGsを学ぶエリアなどもあり、夜7:20～8:00の時間帯では、恒例のハマの夜空を彩る約4000発の花火もあった。

<記 統括インストラクター 森本 正信 5期>

●キャンペーンの流れ

受付、緑募金(ガラガラ抽選) → 紙芝居・涵養実験・クイズ → 全員に景品 → どんぐりクラフト(工作)
丸太切り(コースター作り)

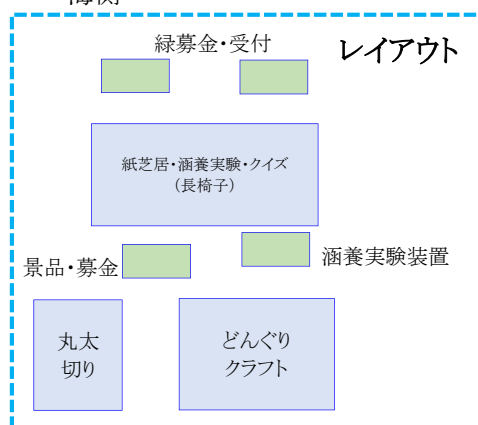
●参加者数： 6/1 (土) 大人 98名、子ども 101名 ⇒ 小計 199名
6/2 (日) 大人 122名、子ども 113名 ⇒ 小計 235名
2日間 計 大人 220名、子ども 214名 ⇒ 合計 434名

私達の会出店場所と配置全景



MAP: 開港祭オフィシャルサイトより引用

海側



海側



陸側

受付・緑の募金 ガラポン



森・水のお話し(紙芝居・水源涵養実験)



実験装置

ご褒美グッズ

ドングリクラフト(工作)



丸太切り



完成



使用の木の実

目の前の海上では 官公庁のヘリコプターや船のデモンストレーションが



夜は花火が(TVK の LIVE 画面より)



(公財)トラストみどり財団、インストラクター参加者

6/1 財 山口様、インスト L森本⑤、高橋③、安部⑤、鈴木⑤、永野⑥、武本⑦、小野⑦、中島⑨
青木⑩、大澤⑩、山崎⑫、溝田⑫、石井⑬、小野⑮ の 14 名

6/2 財 豊丸課長、菊池様、インスト L森本⑤、高橋③、安部⑤、鈴木⑤、武本⑦、斎藤⑧、中島⑨、
青木⑩、宮下⑩、松本⑪、澤村⑫、大原⑬、溝田⑬、小野⑮ の 14 名

かながわ森林インストラクターの会から森林探訪のお知らせ

9月28日(土) 大山阿夫利神社・下社

「初秋の静かな裏参道から大山阿夫利神社下社を歩こう」

(丹沢大山自然再生委員会共催)

8時15分 小田急 秦野駅集合 歩行距離約8km
秦野駅～(バス実費)～養毛～養毛越え～下社～見晴らし台～九十九曲がり～

日向薬師バス停～(バス実費)伊勢原駅

15時30分ころ解散予定 募集 9月14日必着

参加費1000円 割引はありません

持ち物: 昼食、飲み物、雨具など、必要と思われるもの。

服装: ハイキングができる程度(長袖、長ズボン、帽子)、履きなれた靴。

募集人員: 各回 80名 申し込みは、メールまたは往復はがきにて。

森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記載し

〒243-0018 神奈川県厚木市中町2丁目13番14号 サンシャインビル6階
604号 自然観察部会 森林探訪係

Kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp

(問い合わせ TEL 090-6150-6173) 担当: 赤崎

服装の一例



いただいた個人情報につきましては、当会が関連する情報をお送りさせていただく場合がありますが、それ以外は一切使用いたしません。

自然観察部会 『夏の探鳥会』が開催されました。 観察場所: 県立座間谷戸山公園
 日時: 2019. 令和1年 5 月 25 日 (土) 9:30~14:00 晴れ 参加者: 11 名
 講師: 高橋 恒通氏 (3 期)

< 星野 澄佳 13期 >

参加者: 野田⑧ 内野⑨ 女川⑨ 松本⑪
 佐藤⑪ 赤崎⑫ 稲野⑬ 星野⑬
 松石⑬ 鈴木⑭ 河西⑮

里山体験館にて、双眼鏡やスコープの扱い方についてご説明があり、キアシンドクガがひらひらと舞う中、探鳥会が始まる。田んぼの付近にはスズメが。

毛繕いをするキジバト、ハシブトガラス、高い声と美しい黄色羽のキビタキ、カエルをつつくアオサギ、池で休むカルガモ、のど元から胸にかけての黒い毛が印象的なシジュウカラ、空を舞うツバメが見られた。姿は見られないが、ヒヨドリ、コジュケイ、ウグイス、メジロ、オオタカ、コゲラ、アカゲラ、ヤマガラ、カワラヒワの声が聞こえた。

探鳥会ではあるが、植物、昆虫など他の生き物についても、目で、耳で、肌でふれた。

ムクノキの成長と共に木肌が豪快に捲れる様子、至る所にいるキアシンドクガの蛹、それを食すアリ。

カエルのいる環境の豊かさを考え、桑の葉を見て、蚕の作る絹の素晴らしさは化繊とは比較できないことを想像し、葉っぱ笛を鳴らしてみても、様々な視点と楽しみ方より、目の前の自然に対してアプローチできた。

ランチタイムには、樹木の生態、鳥の生きる環境について、考察を行った。

数百年から千年と長生きする樹木は、様々なものを自分で作り出す有機工場であり、その役割は大きいと。

植物と昆虫は利用する、される関係にあり、また、カルガモの雛はカラスに食べられ、昆虫の類も皆、成虫までに数を少なくする・・・という状況の中で自然が保たれている。

①自然と上手に関わる事、②自然の循環の中の、どこの位置にいるのか、部分のみを見るのではなく、全体を見渡したうえで解釈をするという視点が確認された。



長屋門(西口)から



皆さんの観察風景



アオサギ じっとしていた次の瞬間
首がのび蛙を捕らえた



この日は森の野鳥の写真は上手く撮れず。
ピンボケですが毛繕いをするキジバト



美しい声のキビタキ
(撮る事ができなかったのでイラストで)
原色日本鳥類図鑑
(昭和 51 年版現廃版?)

見聞きできた鳥 :

カルガモ、キジバト、アオサギ、オオタカ、コゲラ、アカゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、キビタキ、スズメ、カワラヒワ、コジュケイ 18 種類

(写真: 松本 11 期)

令和元年度 第1回 やどりきの森に行こう！

テーマ：緑したたる森で癒やし体験

場所：松田町やどりき水源林 実施日：令和元年6月8日（土） 参加者：23名

<記録:宮下修一 10 期、写真:吉田郁夫 11 期、真貝勝 11 期、飛田尚弥 15 期>

前日の雨で癒やし体験の開催も危ぶまれたが、開会式が始まる直前には青空も見えるぐらいに天候は回復。緑したたる気持ちのいい景色が目の前に現れた。前日のキャンセルもあったが、参加人員は23名。日本語が上手な外国の方の参加もあった。

9時30分には予定通り開会式を行った。午前中の活動内容は、「針葉樹の森での森林浴、樹冠のゆらぎ、木々の香り体験」、「マイナスイオンが漂う癒やしの森でハンモックで一休み」、「せせらぎの水辺で木の枝で水の音を体感」、「休憩棟の前で遠景の緑のグラデーションを楽しみながらの座観と安息」、「滝郷の滝でマイナスイオンを感じながらの瞑想」、「味覚体験はハーブジュースの試飲」。



開会式で



森の中で寝転んで



ハンモックに揺られて

昼食の後は、「サシェづくり」。そして今日一日、五感を使って森林散策と森林安息を行い、森と自然に癒やされた時間を過ごし、リラックスをしていただきました。



カランコロンという水の音



緑のグラデーションを



マイナスイオンを浴びて



気持ちよい香りが

参加者からは、「とっても癒やされました」、「また参加したい」などのお声をいただきました。14時30分にはバスに乗っていただき、新松田駅へ。「緑したたる森での癒やし体験」は、事故なく無事終了。関係者の協力により、盛況なイベントとなりました。

やどりき事業部：①佐藤、⑨水口、⑬古館

森林癒やし部：⑦若林、⑩宮下、⑪吉田、⑪真貝、⑭笠原、⑮飛田

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第30回の2/2 薬としての働きを持つサポニン

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

サポニンを含む樹木ではサイカチの茎に抗炎症、エゴノキの果皮に去痰、カリンの果実に鎮静、鎮痛、疲労回復などの効用があることが知られています。



サポニンを含む草本も多く、去痰作用にキキョウ、強壮健胃にオタネニンジンといったように漢方に古くから使用されています。

サポニンは薬用として役に立ちますがその作用が強すぎ逆に有毒植物となっているものもあります。オオバコ科のジギタリスはキツネノテブクロの名も持ち、美しい花を咲かせますが、その葉にはジギトキシンというステロイドの強心配糖体を含み、有毒植物として知られています。

サポニンは薬用として有用ですが、中には健康阻害の原因になるものもあります。ひと頃、東南アジアやアフリカから外材が多く輸入されていましたが、その中でもアカテツ科の木材の製材などの加工中に木粉を吸入すると鼻水、くしゃみ、鼻血の症状が現れたのです。それが溶血性を示すサポニンによるものでした。薬用として用いるサポニンも過剰に摂取すると溶血作用を起こしますので、用法・用量を守ることが必要です。

サポニンには経口薬として服用した場合に体内の目的とする場所でその活性を発揮するプロドラッグとしての働きがあります。一部のサポニンは経口服用すると消化管内で腸内細菌などにより変換を受けてそこで初めて吸収されます。

例えば漢方薬の7割以上に含まれていて代表的な生薬である甘草は根に主要有効成分としてグリチルリチンという糖が結合したサポニンを含んでいます。グリチルリチンは抗炎症、抗アレルギー、抗ウイルスなどの作用を持ち漢方薬として最もよく使われている生薬です。グリチルリチンはショ糖の数十倍以上の甘さを持つことで食品添加物としても多く使われています。このグリチルリチンは服用すると腸にまで達して腸内細菌によって糖がはずれた形になって腸に吸収されて活性を発揮します。



セリ科草本の柴胡(さいこ)は抗炎症、胃腸病などに効果があり、漢方薬に利用されています。この根茎に含まれているサイコサポニンも腸内細菌由来の酵素によって糖がはずれて腸に吸収されることが分かっています。

合成薬品ではその効能を発揮するためにプロドラッグの機能を持ったものが合成されますが、サポニンは天然のプロドラッグとしての働きをしています。

(イラスト 広報部 加藤 優美 ⑮)

活動短信

今回の掲載はR元年5月25日～6月29日分です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラストより

紅花菜 5/26～5/30 頃
べにばなさかう
紅花が盛んに咲く
第二十三候 小満 次侯



菖蒲華 6/26～7/1 頃
あやめはなさく
あやめの花が咲く
第二十九候 夏至 次侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので)
写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター○ (○数字: 期) **研** 研修梓

以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

◆ JXTG エネルギー株式会社 根岸製油所

パートナー林の保全活動

日 5月25日(土)、晴れ

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 172名(うち、子供20名)、

スタッフ 高崎マネジャー他7名

県 橋本様 林様

イ 統括L福島⑪

- ・牧石⑭、柏倉④、佐藤⑤、小野⑦、有坂⑧、斎藤⑧、
松山⑩、中村⑪、真貝⑪、西出⑫、石井(裕)⑮、
- ・村井⑨、宮本④、白畑⑦、松本⑧、杉崎⑩、上宮田⑪
- ・斎藤⑥、永松⑫、

<間伐 (L 牧石⑭)>

参加者全員で記念撮影後、間伐参加者63名は用具倉庫

に移動。班毎に分かれ用具を装着後、間伐現場のボランティア林Aに移動。今回10班と班が多い為、2区画で活動実施。ボランティア林Aの下部は間伐できる木が少ない為、間伐場所が上部となり、移動には時間を要しました。その為、移動時間を除くと、活動出来る時間は30分前後と短い時間の中で、事前に選木された胸高直径 20cm前後、樹高15m以上の檜を予定時間内に全班、見事伐倒作業を完了。参加者より、合図と共にロープを引くと綺麗に木が倒れ大変良かったとの意見も聞かれました。参加された皆様、大変お疲れ様でした。

(記 牧石 稔 ⑭)



<自然観察 (L 村井⑨)>

参加者が多いので名簿順に祠側、管理棟側に分けて3チームずつで観察会を行った。

ベテランの参加で五感を使った観察以外に個性的な活動をされたようです。癒やし部会から伝授されたと言う「腹式呼吸」を体験して頂く(宮本さん)。観察は感覚で体験して頂き参加者それぞれの感想をお聞きする(杉崎さん)。

枕状溶岩から海の話になり、「水源林で蓄えられた水が海に注がれても海水汚染が問題ですね。」プラゴミから始まり将来の水環境や新たな技術が生まれるであろう等の話題を熱く語って下さる方がいました。インストラクターももっと、海洋汚染の問題に関心持たなければと痛感しました。(白畑さん)

香りとその効能、山菜とその薬効、やどりきの動物たち(ムササビの食痕に驚きの声)、極めつけはレモンエゴマの葉の“パーン”(上宮田さん)

自然観察にはまったく興味を示して頂けなかったけれど、昨年 苦勞して作った丸太筋工の前で「俺たちがやった! やった!!」と大盛り上がりでした。(松本さん)

森林作業をサイクル表で説明。水源林最高峰 鍋割山と鍋焼きうどん(鍋割讃歌は歌えませんでした)実生、食草と環境、毒草と食べられる草など(村井)短時間の観察会、あと30分あったらなーがインストラクターの感想でした。

(記 村井 正孝 ⑨)

<木工細工 (L 斎藤⑥)>

参加者(31 名)は学齢期に満たない子どももいましたが多くは小学校低学年、はじめは鼻緒を下駄の穴に通せなかったのですが、要領を掴んだ子ども達は1人でどんどん作り始めていました。それをみて後ろに控えていたご両親も挑戦。1家族で4~5個ほど作っていました。胸に飾る子供、首からぶら下げるお母さんといろいろでしたが皆、とても楽しそうに満足いただけたと思います。

(記 永松 裕子 ⑫)

◆ 県民参加の森林づくり (竹林整備)

日 6月1日(土) 08:30~14:00、曇り

場 小田原市小竹

参 77 名

財 大木様、内田様 看 上田様

スタッフ 小田原市森林組合 山室様

イ L 宮下⑫、大道⑥、斎藤⑥、渡部⑦、内野⑨、一重⑪、徳岡⑪、西岡⑭、山口⑪、石川⑫、

藁田⑬、水上⑬、小松⑭、羽鳥⑭、水野⑭、西村⑮

この季節らしくす曇りで、少し蒸し暑さを感じるなかJR二宮駅に集合、バス 5 台に分乗し作業場所近くの小竹向山第一公園へ移動しオリエンテーションを実施。宮下Lから「皆さんお楽しみのタケノコにはまだ少し早いようです、あまり期待しないで下さい。」との話がかった時は参加者からどよめきがあがりましたが、各自作業道具を受け取った後は元気に作業現場へ向かい、1~5 班の各担当エリアに分かれて作業を開始しました。

今回の現場は、この冬にインストラクター研修会で整備作業を作業した場所もある一方、片や全くの手つかずで、今回初めて整備を行う場所もあり、受け持ち場所により状況がまちまちでした。私が担当した 3 班の受け持ちエリアは、整備作業の跡の辺縁部にあたり、枯竹や倒竹が多く、雑然としていましたが、参加者は竹林整備作業のベテラン参加者も多く、予想以上にテキパキと作業は進みました。

終了時には、すっきりとして心地よい風も通る、見違えるような竹林となりました。他の班も作業は想定以上に捗ったとの事で、昼食後の反省会では「達成感をもらって楽しかった」という参加者の声が多かったようです。

オリエンテーション時に期待できないといわれたタケノコも、十分とはいえないまでも、皆さんそれぞれお土産を確保されたようでした。

(記 西村 充弘 ⑮)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。

かながわの水源地域の
保全・再生をめざして

<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 神奈川ヨタ自動車株式会社

第 39 回ヨタプリウス森木会

日 6月1日(土)、曇り 6月2日(日)、曇り

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 1 日;38 名(うち子供 11 名) 2 日;36 名(うち子供 7 名)

スタッフ 1 日 黒澤部長、佐藤様、他スタッフ 8 名

2 日 安藤常務取締役、大坊常務取締役、黒澤部長、佐藤様、他スタッフ 8 名

看 本田様

イ 1 日 L 福島⑪、草野⑧、松本⑧、湯浅⑪、吉田⑪、真貝⑪、牧石⑭、藤井(敏)⑭、河西⑮

2 日 L 福島⑪、宮本④、草野⑧、松本⑧、湯浅⑪、山下⑪、吉田⑪、真貝⑪、藤井(世)⑭

<第一日目(6/1)>

今回で 39 回目を迎える森木会は、約 80 名の参加者を二日に分けて寄水源林で開催されました。当日は晴れ間も見える曇り空でとても過ごしやすい気候でした。丸太筋工、清流ウオーキング、水生生物の観察と夏みかんのミニ講座を体験しました。丸太筋工は苦労して作った筋工にスギの枯れ枝を集め、「とても綺麗になった」と声が上がりました。水生生物の観察では、この水源林の説明を受けた後、きれいな水にしか棲めない生物が多く生息していることを、目の前の沢で採集したばかりの実物を見ながら学びました。特にお子さん達の生物への興味はとても高く、その場を離れずに見続けている子もいました。清流ウオーキングは広場から河原にエントリーし、川沿いを最初の堰堤まで 20 分ほど遡行するコース。「水がきれい冷たい」「神奈川じゃないみたい」等の声上がり、斜面を登ったり水に浸かったりのアドベンチャー気分を楽しみました。インストラクターの藤井さんが、ご自身で育てた夏みかんの皮を使った香り袋やマーマレードの作り方講座を開催され、五感を使った楽しいプログラムを好評のうちに終えることができました。

(記 河西 静夫 ⑮)

<第二日目(6/2)>

丸太筋工の作業は、どちらかと言うと大人の力仕事。今回のお客様は家族連れが主体。夫婦とお子様のペアが多い。お子様と一緒に楽しく過ごしていただくことをメイン

に作業をしました。作業は、まず最初にクワで穴を掘る。現場は砂利で舗装をしてあるところなのでコンクリの粉などが地面に敷き詰めてありクワが入りにくい。お父さんの腕の見せ所。安全に注意しながら、力仕事をしてもらう。次いで、カケヤで丸太を地面に打ち込み。本来はこれも大人の力仕事だが、お子様やお母さまにもやってもらう。餅つきの要領で。重たいカケヤを両手で持ち上げお父さんの補助を受けながらの初めての力仕事。横木を添えて、筋工を、シノは使い方にコツがあるが、食パンの針金のように。何とか形に。中には大工さんもいらして、さすがプロ。あっという間に。鋸で上の高さをそろえて。鋸もお子様が楽しく作業を。二日間とも曇り空で、暑くもなく快適な森の中の作業を楽しんでもらいました。

(記 吉田 郁夫 ⑪)

◆ いすゞ自動車株式会社

日 6月8日(土) 10:00～14:00、曇り

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 ・間伐 大人 13 名、子供 6 名 ・自然観察 3 名
・水生生物 大人 4 名、子供 2 名 計 28 名

県 林 様 末広 様

イ L 小野⑦ 宮本④ 佐藤⑤ 真部⑬ 牧石⑭
坂井⑮ 石井裕⑮

いすゞ自動車様は第 2 回目の活動になります。森林整備が初めての方や、元気な子供たちを交えて 4 班に分けて間伐体験をしました。

現場は、間伐を出来るエリアが少なくなりつつある中で、選んだ木が 4 本ともに急斜面にあり、第 1 回目よりも移動を含めて難易度が高い間伐作業になりました。しかし、参加者皆様の意気込みにより、全班無事に作業が完了しました。



作業風景(撮影 この日やどりき当番 松本⑪)

午後の予定も引き続き林内の整備でしたが、空模様を鑑み、整備作業は中止。参加者全員が広場での活動にな

りました。

子供達は、ロケットラン、どんぐり工作、丸太からのカスネット作りなどで一生懸命でした。

大人たちはインストラクターを交えて、丸太切りした木の皮を剥き、オブジェ風に作ったり、木の断面などを熱心に観察されたり、草笛に夢中な方もおりました。皆様、話が弾んで楽しそうでした。

森林整備だけでなく、小さな木片や葉っぱ一枚で、充分に楽しめる時を作れる森の深さを、改めて感じた一日でした。

(記 石井 裕 ⑮)

◆ 県民参加の森林づくり 下刈り

日 6月8日(土) 8:30～13:00、曇り

場 南足柄市内山 21 世紀の森の(成長の森)

参 44 名

財 大木様、山口様 看 青木様

イ L 上宮田⑪、鈴木③、鈴木⑤、山崎⑦、内野⑨、小沢⑨、湯浅⑪、渡辺⑫、斎藤⑬、佐々木⑮、妙泉⑮、

安全 飯澤⑨、辻村⑨

令和元年度「県民参加の森林づくり活動」における最初の下草刈りを、平成27年度成長の森「無花粉スギ」植栽地にて実施しました。前夜来の強い雨により、当日早朝まで作業実施が危ぶまれましたが、集合時間までに、ようやく雨が上がりました。



現地は、「21 世紀の森」駐車場から、徒歩 10～20 分に位置する傾斜地です。人の背丈程に成長したスギの苗木が、全面、高さ1m程のカヤに覆いつくされ、なかなかタフな現場です。作業は、上下方向に 5 班体制で、全員、十分な間隔を保ちながら、西側防鹿柵まで横移動にて行いました。作業は、参加人員が予定より大幅に減ったにもかかわらず、11 時までには終了することができました。その理由として、ベテランが多かったことを始めとして、カヤが十分雨に濡れており鎌が滑りにくかったこと、及び、曇天

で気温上昇が抑えられたことによる作業効率アップが考えられます。下草刈りにはベストなコンディションだったと申せましょう。

下草が刈り倒された斜面には、下方から涼やかな風が吹き渡り、鶯のさえずりが響き渡りました。遙か遠方の海を眺めながら、いつものことですが、下草刈り完了時の充実感、達成感を味わうことができました。

(記 鈴木 友二 ③)

◆ 川崎市公園緑地協会

真竹林整備・下草刈り・ミニ講話

日 6月16日(日)9:30~12:00、晴れ

場 川崎市麻生区 栗木山王山特別緑地

参 20名

スタッフ 川崎市公園緑地協会他 10名

イ 小野⑦

スタッフは小田急線栗平駅南口に集合後、当日の作業場所、作業内容等の説明を受けた。

特に参加者の興味?の筈については捨てず「切取ったら必ず持帰る」事を徹底されたこれは腐敗して発する悪臭対策の為である。

作業地の中央の平場は数年来の竹皆伐により開けた草地に変わりセイダカアワダチソウの抜取り、疎らな雑木や細竹などの除伐。隣地の枯竹の処分等が作業内容である。当地は今夏機械による草刈りを予定、将来は上部の湧水を利用したピオトープを計画との事で楽しみな場所である。

休憩時に小野が1940年前後に採用された「コンクリート構造物への竹筋」について現存する構造物の写真を示し乍ら以下を説明。

太平洋戦争前夜の鉄不足対策として鉄の代用に竹が使われ1984年に廃止された旧国鉄宮原線では現在も素晴らしいデザインの橋梁が数基残り、米倉として建てられ今も現役の商店として利用されている建物も有る等。

天気にも恵まれケガも無く素晴らしい活動日でした。

(記 小野 幸広 ⑦)

◆ 鎌倉市公園協会

緑のレンジャー・シニア③

日 6月22日(土)、雨

場 鎌倉中央公園

参 男9名、女3名

スタッフ 後藤様 千田様

イ L安部⑤ 柏倉④

当初予定は、6月15日(土)でしたが、荒天予想のために一週間延期して、6月22日(土)の実施となりました。が、またしても雨天が予想されたのでした。中止も検討されましたが、前日になって予報が良い方になったので、実行することにしました。

開講時には、なんとか降らないでいたが、程なく本降りとなり、雨中の作業となった。

熱心な受講生の皆様方のご協力により、安全に楽しく講習を、終了することができました。

インストラクターの自己紹介、本日の講座の目的と概要、使用道具の説明、安全管理と、長い話を聞いて頂きました。

ストレッチで、体を動かしてから、現場に移動しての、作業となりました。

二班に分かれての雨中作業になり、各々伐採木を決めて、諸道具を駆使して伐採し、片付け処分を、実践致しました。

作業の終了のころは、雨も小やみになって、足取りも軽く管理事務所に帰り使用道具の、簡単な手入れをしました。

終礼では、雨天講習にも拘らず、『楽しかったです。』とのおことばをいただき、インストラクター冥利につかさせていただきました。9月の再会を楽しみにして、小雨の中、終了させていただきました。

(記 安部 善雄 ⑤)

◆ 伯東グループ

第13回森林活動(枝打ち)

日 6月22日(土)10時~12時 雨

場 南足柄市塚原ボランティアフィールド

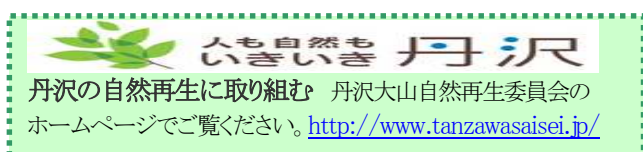
参 伯東(株)玉井千晶様他(男10名、女4名)合計15名

県 石井様

イ L牧石⑭、小沢⑨、村井⑨

梅雨期の活動は空を見上げて一喜一憂。雨が止むのを期待して小雨の中塚原へ向かう。

例によって早めに用具を揃え、現場の下見をする。通称ヘヤーピンカーブの向かい側、ヒノキ15年の暗い森、不幸中の幸いか下草が生えてないので足回りは濡れる心配



はない。カントウカンアオイが元気に咲いていた。10 時、伯東様一行到着。小降りになったり激しく降ったりする中で用具を装着、伯東様、県、リーダーの挨拶もそこそこに現場へ向かい、枝葉で雨がしのげる場所で石井さんに作業可能地を確認して頂き、リーダーから作業手順、枝打ちの意義、注意事項など、ストレッチは小沢さんが担当した。3班体制で 10 時 50 分スタート、初心者は比較的平坦な場所で作業。1時間の作業予定だったが、雨足が強まり 50 分ほどで作業を終了。悪環境の中だったが 130 本の枝打ちが出来た。用具清掃も活動メニューにあったので打診してみました、とてもお願いできる状態でなかったのも、石井さんにも手伝って頂き雨中で処理をしました。ヒヤリハットはなく無事終了しましたが、申し送りとしてはパートナー様には両手の使える合羽(雨具)を持参して頂くことを義務づける必要はありそうです。

(記 村井 正孝 ⑨)



作業現場 (撮影:牧石 ⑭)

◆ 横浜市立公田小学校

愛川ふれあいの村自然観察

- 日 6月25日(火) 10:30～12:30、晴れ
 場 愛甲郡愛川町 愛川ふれあいの村
 参 横浜市立公田小学校5年生児童 50名 教師等8名
 イ L 柏倉④ 内野⑨ 松石⑬ 牧石⑭

総合学習の一環として「自然観察」を実施する。この取り組みは3年目となり、学年行事として位置づけられている。

4 班に分かれ、村内に設定された「自然観察路」に沿って進み、各所に設置された「設問」に五感を総動員して取り組むはずであったが思わぬ伏兵(山ビル)に遭ってトーンダウン。

10カ所の観察ポイントでは説明や話しあいも上の空となってしまう班もみられた。

梅雨期の晴れ間で自然観察には打ってつけであったが、山ビルにとっても絶好の条件だったに違いない。

「感覚を研ぎ澄まして自然と向き合う」といった学びはそれができてしまったが、コース終了後にふりかえりと確認の話し合いを丁寧に行い、終了時刻を 30 分ほど過ぎる。

子供たちへの実害はなかったが 40 数匹を捕殺する。

閉会式で「夜の自然観察として、東の空に見られる夏の大三角形デネブ・ベガ・アルタイルを捜してください。」と思いを託す。

(記 柏倉 紘 ④)

◆ 横浜市立公田小学校 自然観察

- 日 6月26日(水)10:10～12:30、晴れ
 場 横浜市金沢区 横浜市立八景小学校
 参 同校5年生 担任教師及び生徒計70名
 イ 小野⑦

7月7日に予定の長竹での間伐研修に関するの事前授業。授業では林業全般について浅く、広く、を心掛け、間伐作業での具体的な方法等は現地にて説明する事とし当作業の必要性和危険度を強調するにとどめた。

森林の働きは森林講話の映像や黒板を使って極力「目に訴える」説明に努め。林業の現状は持参の材価と諸物価の推移グラフにて日本の森林が荒れているのは「働き手の減少。国産材が外材に比べ安価」等が要因と解説した。林業は植林後 50～60 年でやっと金になる、息の長い仕事である事を農業等と比較して強調。

その他関連の用語や各種数字等も説明した。一方通行とならない様に適宜質問を交えての 90 分でしたが拙い臨時教師役でどの程度理解頂けたか甚だ心許ない。終始真摯に耳を傾けて頂いたことに感謝しつつ校長先生、副校長先生のお見送りを頂き7/7日の好天を祈りながら帰路についた。

(記 小野 幸広 ⑦)

◆ 県民参加の森林づくり活動 (下刈り)

- 日 6月29日(土)、曇り時々雨
 場 小田原市荻窪(緑の祭典植栽地)
 参 31名
 財 豊丸課長 大木様 内田様 青木様
 スタッフ 小田原市森林組合 山室様
 小田原市農政課 伊藤様

- イ L 松石⑬ 佐藤① 鈴木③ 篠原⑨ 吉田⑪ 黒川⑭
 小松⑭ 松本⑪ 小野⑮ 西村⑮ 吉川⑮

一般募集 100 名に対し 50 名の応募があったが当日参加

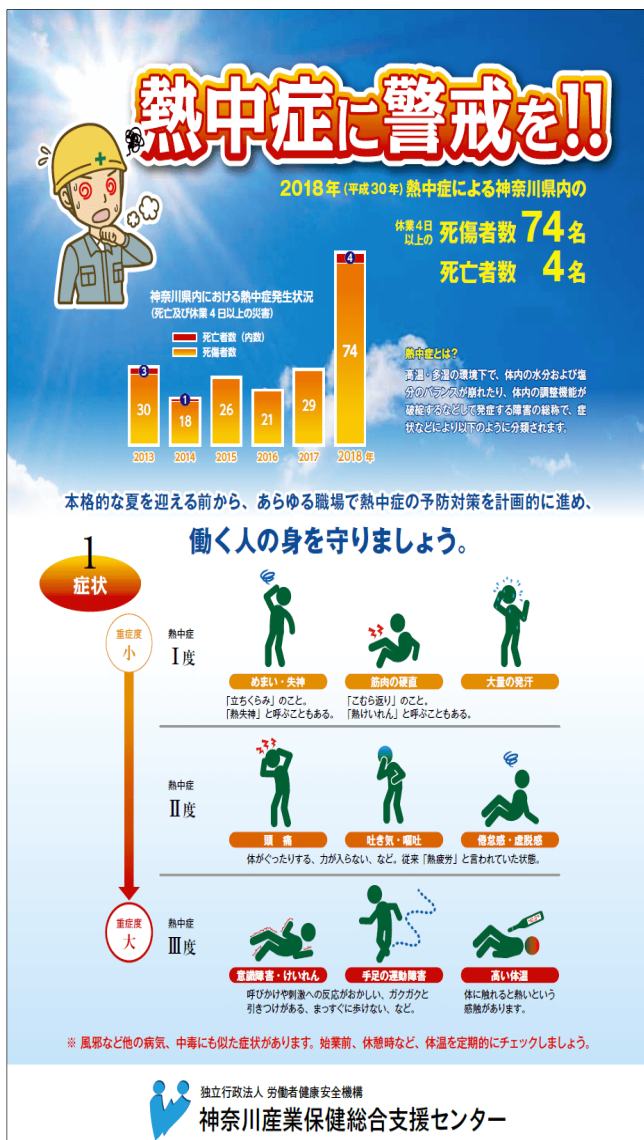
31 名にて実施。

作業開始間もなく降ってきた雨の中、急坂のすべりやすい場所での作業であったが、足元に気を付けながらも少ない人数で予定の作業エリアを完遂できた。

参加者は雨の降りしき中きれいになった植栽地を見て、すべて刈り取りできたことに満足感を得ていた。

一同はその後小田原市いこいの森体験交流センター(きつつき)に移動し、山本和子氏の間伐材利用について、播磨信之氏の竹林増大の危惧と対応についてのボランティア活動の発表を聞き意見交換の後解散となった。

(記 小野 雅一^⑮)



緑の募金
シンボルマーク



緑の募金キャラクター
どんぐりくん・どんぐりちゃん

かながわ森林インストラクターの会が『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。

全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

『「森林環境教育・森林 ESD」「緑の少年団」推進全国セミナー』

—「学習指導要領」改訂・「地域学校協働活動」導入を踏まえた促進策を学ぶ—

【日時】8月29日(木) 13:30~17:30、30日

(金) 9:30~12:00

【場所】TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター・ホール 5C

【URL】<http://www.green.or.jp/event/shinrinesd-syounendan-zenkokuseminar/>

新たな「学習指導要領」と「教科書」に対応させて、「森林環境教育・森林 ESD」が効果的に実施されるよう、都道府県レベル・市町村レベルの支援体制の充実や、担い手育成、プログラム開発等を促進し、「緑の少年団」を活性化するために、全国セミナーを2日間にわたり開催します。

具体的な事例をもとに、実践者同士で交流できる機会です。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください。

<参加対象>

- ・都道府県や市町村レベルで、学校での「緑の少年団」や「森林環境教育・森林 ESD」の促進を行う組織のスタッフ
- ・青少年教育施設や森林総合利用施設等において、学校等の受入を拡充したい団体等のスタッフ、
- ・森林 NPO やインストラクター等で、学校への「出前授業」や「体験活動」の受入を促進したい団体のスタッフ

<内容>

- ・新「学習指導要領」とそれに対応した「教科書」(本年 5 月公表)における、森林等の記載状況の“調査結果”を紹介
- ・新「学習指導要領」等に対応した、地域と学校が連携した「森林 ESD」を推進する“ノウハウ”を紹介
- ・学校への“出前講座”や、青少年教育施設等での“体験活動”の受入で、幅広い学校等における「緑の少年団」や「森林環境教育・森林 ESD」を促進しているモデル事例や、都道府県の支援施策等を網羅的に紹介
- ・モデル事例の担当者の指導・助言の下、“出前講座”や“体験活動”の受入に向けた“ワークショップ”の実施

○『「森林環境教育・森林 ESD」「緑の少年団」推進全国セミナー』詳細、参加申込はコチラ↓

<http://www.green.or.jp/event/shinrinesd-syounendan-zenkokuseminar/>

やどりき水源林ミニガイド

7月のトピックス

アジサイ類も終わりに近づきました。
そんな中で遅い蕾の山百合が！！



く撮影 7/7 上宮田さん⑩ 当番時にて

8月の水源林

今年は気温の低い7月ですが、8月は暑い夏がきます。綺麗な森や川があるやどりきに涼みにおいでください。

「森の案内人」情報

案内人も張り切ってお待ちしています。

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラス

みどり財団 TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

●ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>

<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikif27.html>

E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。

バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

特別企画『やどりきの森へ行こう！』

各回とも小田急新松田駅北口 8：30 集合。
特別企画当日は駅前から水源林までバス利用
(運賃各自負担：片道 620 円)

第2回 9月21日(土)

【溪流に棲む生き物を探そう：募集 20 名】
水棲生物観察と滝見学

新松田駅出発 8:40 → 新松田駅帰着 15:10 頃

「特別企画」は事前申込が必要です

◇ 往復はがき、または E-mail で
先着順にお受けします。

開催日の 14 日前(土) 締切。お申し込みが
20 名に満たない場合は中止となります。

住所：〒243-0018 厚木市中町 2-13-14
サツヤビル 604

E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

NPO 法人
かながわ森林インストラクターの会

◇ 会では「やどりき水源林ニュース」を公開中

Web サイト：

www.forest-kanagawa.jp/index.html

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。
～9 月にかけて担当が大きく変わります。
ご協力をお願いします。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本⑪ → 黒川⑭

Tel：080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

<電子配信会員向け担当> 笠原⑭

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

<電子配信企業等パートナー向け担当>

今月 8 月号から変わります。柳澤⑪

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史

Tel：080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊】黒川⑭ → 阿藤⑮

Tel：045-433-4413

Mail: hisa-ato2@22.netyou.jp

別冊は CC を】山口 久基(事務局長)

Mail: hisaki1950@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP 担当：井出恒夫)

編集後記

★蝉の音が響き始めました。ああ夏が来たんだなあ。

今年は鳴き始めが遅かったですね。暑苦しい中で聴こえるのは苛しいものですが年々少なくなっているような気がして、蝉の行く末が心配です。

(笠原)

★これを書いているのは7月下旬。いつもなら、「梅雨明け 10 日」で快晴、真夏の暑さが来ているんですが。

湿度が高く蒸し暑い日が続いています。天気も世情も東アジアもいやらしい気配が漂っています。汗だらだら真夏を待ちにしています。

(吉田)

★広報で8月号より別冊の編集を行ことになりました。初めて担当をしてみました。が皆様からの原稿を編集作業するのは緊張します。まもなく暑い夏が来ます！

(阿藤)

★7 月に広報部長を仰せつかり、本誌の編集を松本さんに代わり担当します。別冊編集は、15 期阿藤さんに引き継ぎました。まだまだ不慣れで、わからないことだらけなので、皆さまのご協力をお願いいたします。

(黒川)

★今月から来月にかけて、広報部の役割が変更になります。黒川さん中心で運営となります。また、パートナー等外部向け電子配信で柳澤さん⑪が加わります。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで 2000 円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から 12 回/1 年間お届け致します。

編集人：松本⑪ → 黒川⑭

事務局長：福島⑪ → 山口⑪

広報部：概略役割

松本⑪：全面バックアップ、アドバイス等

吉田⑪：郵送住所パベル管理

笠原⑭：会員向け電子配信

柳澤⑪：パートナー向け電子配信

加藤⑮：イラスト

阿藤⑭、(竹内⑮)：別冊

支援：伊藤⑦ 大原⑬ 江頭⑬



第42回 まつだ観光まつり

第20回 あしがら花火大会

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/42th-kankoufes/>

日程：令和元年8月24日(土曜日)

メイン会場／酒匂川町民親水広場 パレード／松田町内

お問い合わせ先

主催(一社)松田町観光協会

【電話】0465-85-3130 (受付 9 時～17 時/土日祝除く)

共催

松田町観光経済課 【電話】0465-83-1228